

埴生郡

男壬生部波奈年拾貳歲

小子〇下略

〔郡名考〕下總 埴生ハニフ 埴生ハフ

〔下總國舊事考九郡郷〕埴生郡和名抄訓波牟不訓

名義埴生ハ、ハニノオフル處ヲ云、和名抄訓波牟不ナレド、地方ノ方言ニテハブト省言ニ呼ビ來

レリ、或云牟一本ニ爾ニ作レリト、イカヤ、駿河國阿陪那埴生郷抄ニ四郷ヲ載スレド龍角寺所藏

天正八年千葉邦胤文書ニハ、埴生十五郷料所并私領云々トアリ、此ノ料所トハ千葉家ノ領分ナ

ベシ、郷トハ十五箇村ノコトニヤ、又吉岡大慈恩寺文書ニ、伊能郷奈土郷津富良郷小松郷等アリ、

皆村ト並ベ舉ゲタリ、郷村ノ辨別ナシ、

按ニ、佐倉風土記ニ、本郡中古廢シテ香取ノ郡埴生庄ト唱フ、貞享三年以來復タ郡トナレリト云

郡名ノ起レルハ、上福田村ニヤ、上福田下福田トモ、舊ハ一村ニ土地明神ト云社アリ、社傳ニ

埴安姬命ヲ祭ルト云、サテ上總下總共ニ埴生海上ノ二郡アリ、

四至今ノサマハ、東南ハ香取郡上總國武射郡ヲ限リ、西南ハ印幡郡北ハ利根川常陸國河内郡ナ

リ、

〔萬葉集二十〕天平勝寶七歲乙未二月相替遣筑紫諸國防人等歌、

阿米都之乃、以都例乃可美乎、以乃良波加、有都久之波々爾、麻多己等刀波牟、

右一首、埴生郡大伴部麻與佐、

相馬郡

〔下總國舊事考九郡郷〕相馬郡和名抄訓佐萬

相馬ノ名義ハ、狹沼ナルベシ、此地昔シ衣川ノ末流、小貝川ニ合シ、今ノ利根川ト川瀬ヲ異ニシテ、

立木村ノ北方ヲ迂回シテ、沼澤沮洳ノ地ナレバ、名付シナルベシ、但馬國氣多郡狹沼郷アリ、此地

ノサマナルベシ、